

令和6年度

学校評価報告書

智辯学園奈良カレッジ小学部

学校法人 智辯学園

I. 学校評価総括

建学の理念	「誠実・明朗」　－心身ともに健康で、使命感を持つ、誠実な人間を育成する－	
教育目標	1. 能力を最大に伸ばす　－学力向上の取り組みの充実－ 2. 豊かな人間性を育む　－心を育む教育の推進－ 目標とする人物像 1. 明朗で知性溢れる人 2. 不屈の精神を持って使命感を全うする人 3. 自己を確立しつつ、社会性豊かな人 4. この世に生を受けた幸福を知る人	
これまでの成果と課題	<p>本校は、建学の精神のもと、児童一人ひとりが自ら考えて行動すること、感謝の気持ちを持つこと、当たり前のことを当たり前にすることが大切であると考えて教育に取り組み、一定の評価をいただいている。令和元年度の終わりから学校生活に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症もようやく落ち着き、学校行事や日々の教育活動・育友会活動等にしっかりと注力することができた。令和5年度から新設された生活・総合の授業の一環であるCollege Timeも2年目を迎え、本校の教育の軸とするべくそれぞれの学年で日々研鑽を積んでいる。「みらい型リーダーの育成」を掲げ、里山を活用した問題解決型学習を進めるとともに、児童たちが自ら設定した課題について主体性・協働性・創造性を持って探求していくことを目的とし、少しずつではあるが成果として現れていると感じている。特に、学習指導部を中心とし、教科横断型の学習を推し進める中で、令和6年度は主体性を伸ばすこと重きを置き、教育活動を進めた。児童の主体性は、これまでと比較しても随分と培われたように感じている。</p> <p>本校の教育の土台となる心の教育については、令和6年度もしっかりと取り組むことができた。令和6年度もこれまで同様、児童一人ひとりがお互いのことを思いやり、助け合う姿が多く見られた一年間であった。宗教的情操教育は今後も本校教育の基軸として、常に大切に考えていきたい。また、学習においても、基礎・基本を大事にし、丁寧に取り組むことができていた。特に、先述のCollege Timeを中心に、どの教科でも学び合い・話し合い等の活動を重視し、児童の主体的な学びを進めることができた。令和7年度も、児童の主体性・協働性・創造性をしっかりと伸ばす教育を展開し、「みらい型リーダーの育成」に注力することを考えている。</p>	
本年度の重点目標	具体的目標	総合評価
みらい型リーダーの育成	1. 豊かな人間性を育む 2. 主体性・協働性・創造性を育む	児童の主体的な学びを大切にしつつ、基礎学力の定着を第一と考え、毎日の課題に丁寧に取り組むよう指導できている。児童の実情に応じた、きめ細やかな指導を大切にしつつ、主体的・対話的で深い学びを推進したい。また、宗教（道徳）の授業を通して「感謝の心」「相互礼拝・相互扶助」の精神や人としての基盤を養うための取り組みは本校教育の根幹であり、今後もしっかりと継続していく。
教員の意識改革と授業改善	1. 「わかる楽しさ、できる喜び」のある授業作り 2. 子ども自身に考えさせる教育	令和6年度は、College Timeを進める中で、児童の主体性を引き出すことに重きを置き、授業や日々の活動の中で主体性を發揮する場面が数多く見られた。今年度から本校では1授業を40分とすることで、College Timeの時間を毎週のコマとしてしっかり確保し、さらに有意義な時間となるよう教育を進めていきたい。
教員組織の活性化	1. 機能的な組織作り 2. 教員の相互理解と協働	校務分掌に沿って、日常の業務は機能的に運営されていると考えている。令和7年度から学年チーム担任制を導入することも踏まえ、さらに研修の機会や情報交換の場を増やしていくよう努めていく。
入学志願者・入学者の安定確保	広報活動の充実	令和6年度は、前年と比較し志願者を増やすことができた。特にSNSの積極的な活用を継続し、令和8年度新入生の募集においても不断の努力を継続する。

2. 教育活動に関する評価（内部評価）

評価項目	具体的目標と方策	評価指標	評価結果	
建学の理念に基づく学校運営方針	学校運営方針の策定	建学の精神に基づいた学校運営方針を策定し、それに則った教育が行われている。	A	
	教育目標	宗教的情操に基づき豊かな心を持つ教養人を育成している。 児童の能力の最大開発のため誠心誠意教科指導している。	A A	
教科指導	学習指導計画	年間教育計画に則った授業が行われている。	A	
	学力養成	「わかる楽しさ、できる喜び」のある授業づくりを心掛け、確かな学力を養う授業が行われている。	A	
	家庭学習	各学年に応じた家庭学習が推進されている。	A	
総合的な学習の時間の指導	総合的な学習の時間の指導	総合的な学習の時間等に、里山等を用いて、教科横断的・総合的な課題解決学習が行われている。	A	A
英語教育	英語教育	会話重視の英語教育が行われている。	B	B
ICT教育	ICT教育	タブレット端末を利用した学習が推進されている。	A	A
特別活動	学校行事	学校、学年、学級行事に意欲的に推進している。	A	A
	児童会・クラブ活動の活性化	児童会やクラブ活動で自主性を重んじた活動を推進している。	A	
道徳（宗教）教育	道徳（宗教）教育	基本的な道徳的価値観や実践力の育成に取り組んでいる。	A	A
人権教育	人権教育指導計画の立案と実施	各学年に応じた目標と年間指導計画を作成し、それに基づいた授業が行われている。	B	A
	いじめ対策	学校いじめ防止基本方針をもとに、いじめの予防、早期発見、問題解決に組織的に取り組んでいる。	A	
児童指導	生活指導	学校の決まりや生活目標が共通理解できている。	B	A
		規範意識、通学マナーの向上に取り組んでいる。	B	
	学年経営・学級経営	学年の教育目標や学級経営案を作成し、実行している。	A	
		児童一人一人を我が子のように大切にした教育が行われている。	A	
進路指導	中学部進学	中学部進学に向けて高学年の児童や保護者に適切な情報を提供している。	A	A

評価は4段階 A…できている B…ほぼできている C…あまりできていない D…できていない（要改善）

3. 学校経営に関する評価（内部評価）

評価項目	具体的目標と方策	評価指標	評価結果
安全管理	通学時の安全管理	通学の安全管理のため、各児童の通学経路等を集約できている。	A
	施設設備の安全管理と防災・避難訓練	校内の施設・設備の安全、維持管理がなされるとともに、防災・避難訓練を計画的に行っている。	A
	関係諸機関との連携	不審者情報の共有等、関係機関との連絡をしている。	A
保健管理	学校保健計画の立案	学校保健計画を作成し、そのスケジュールに従って健康診断や身体測定等を実施している。	A
	健康増進・体力づくり	運動への意欲・関心を高めて、児童の健康増進や体力づくりに取り組んでいる。	A
	関係諸機関との連携	保健所、学校医などとの連絡体制を整えている。	A

評価項目	具体的目標と方策	評価指標	評価結果
家庭との連携	学校情報の発信	定期的に学校通信や学年通信、保護者会などで教育内容や計画を家庭に伝えている。	A
	家庭との連携	家庭との連絡や相談が必要に応じて適切に行われている。	A
	育友会の活性化	学校と育友会の結びつきを強化し、協力を得ている。	A
組織運営	校務分掌等の連携	校務分掌ごとの話し合いがなされ、組織が機能している。	A
	主任者会議・職員会議	会議で話し合われたことが、教育活動や学校運営に生かされている。	A
	職場の人間関係	教職員相互の連絡が円滑で、意欲や力が發揮できている。	A
情報管理	公文書・帳簿類の保管・取り扱い	公文書や帳簿が整理・保管され、遅滞なく公文書が処理されている。	A
	個人情報の保護、管理	個人情報がしっかりと保護され、管理できている。	A
児童募集・広報	入試広報	計画的に入試広報活動を実施している。	A
	募集広報	ホームページの更新や学校案内の配付を積極的に行っている。	A

4. 保護者による評価

大項目	質問事項	評価結果 (平均値)
建学の理念に基づく学校運営方針	建学の理念や教育目標にそった教育が行われている。	1.27
道徳（宗教）教育	あらゆる機会を通じて道徳心の育成を行っている。	1.23
教科指導	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	1.32
生活指導	挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。	1.45
いじめ問題	学校として、未然防止も含め、いじめ問題に真摯に取り組んでいる。	1.64
学校行事	学年行事や運動会・文化祭などの学校行事が積極的に行われている。	1.27
施設・設備	学校の施設や設備は整備されている。	1.55
教育相談	悩みや困ったことについて、本校の教員に気軽に相談できる。	1.59
家庭との連絡	家庭への連絡や情報提供を積極的に実施している。	1.45
学校生活	お子さんの学校生活は充実している。	1.36

評価は4段階 1…できている 2…ほぼできている 3…あまりできていない 4…できていない（要改善）

※上記の「保護者による評価」は令和5年度育友会役員、実行委員の皆様にお願いして評価していただきました。